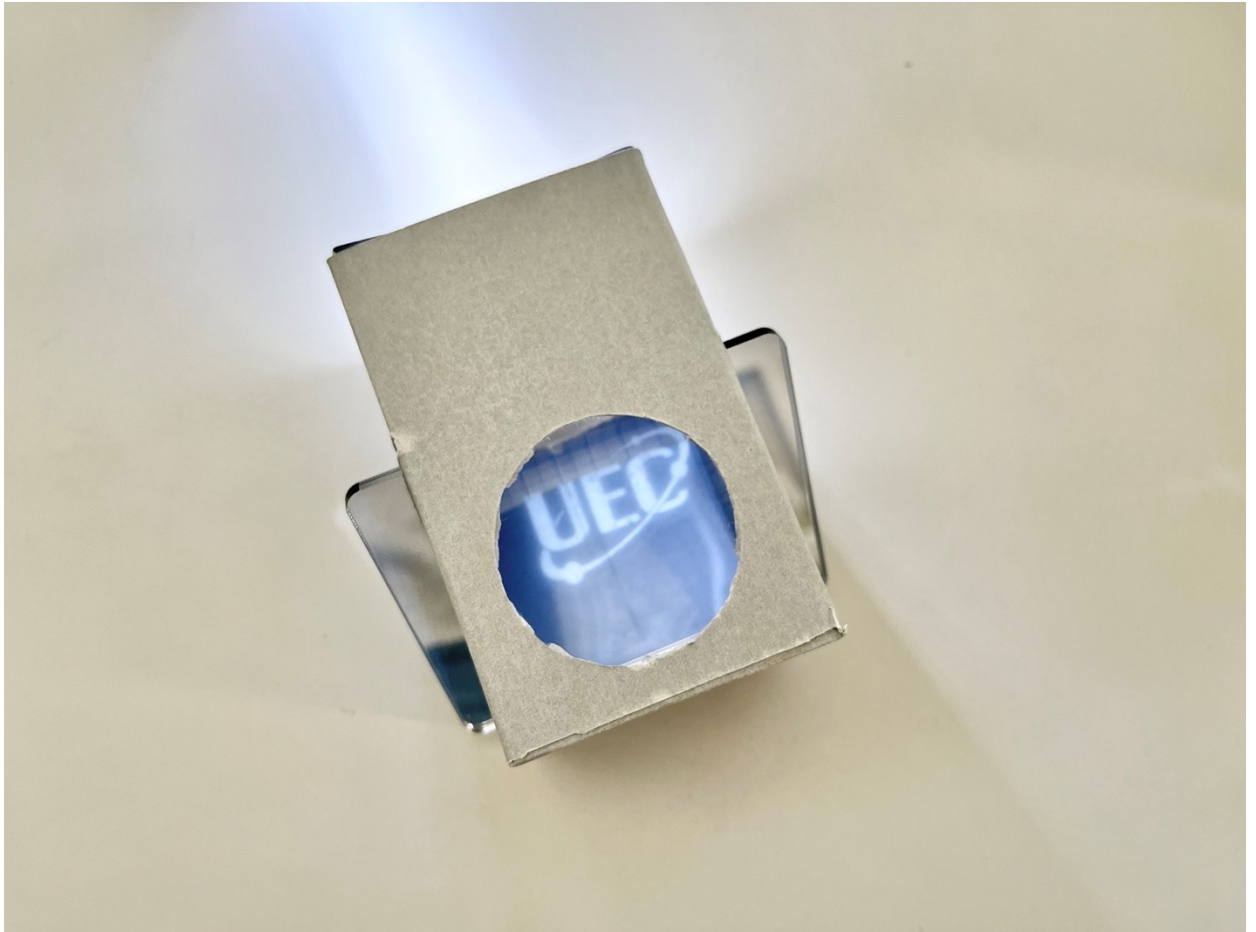


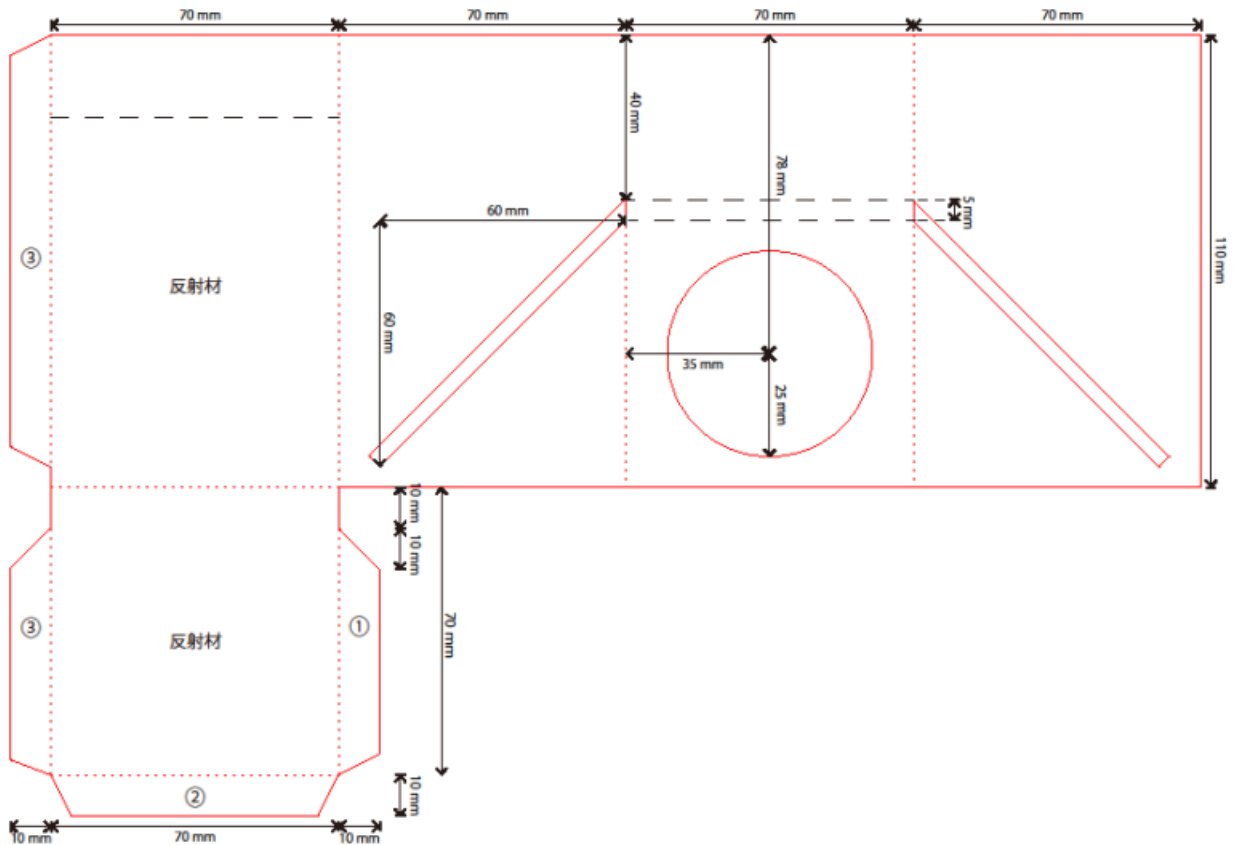
反射材とハーフミラーで 空中ディスプレイを作ろう！



何ができるの？

- ▶ 再帰反射素子（反射材）とハーフミラーだけで空中像を見ることができるようになります
- ▶ 窓から画像が飛び出しているかのように見えます

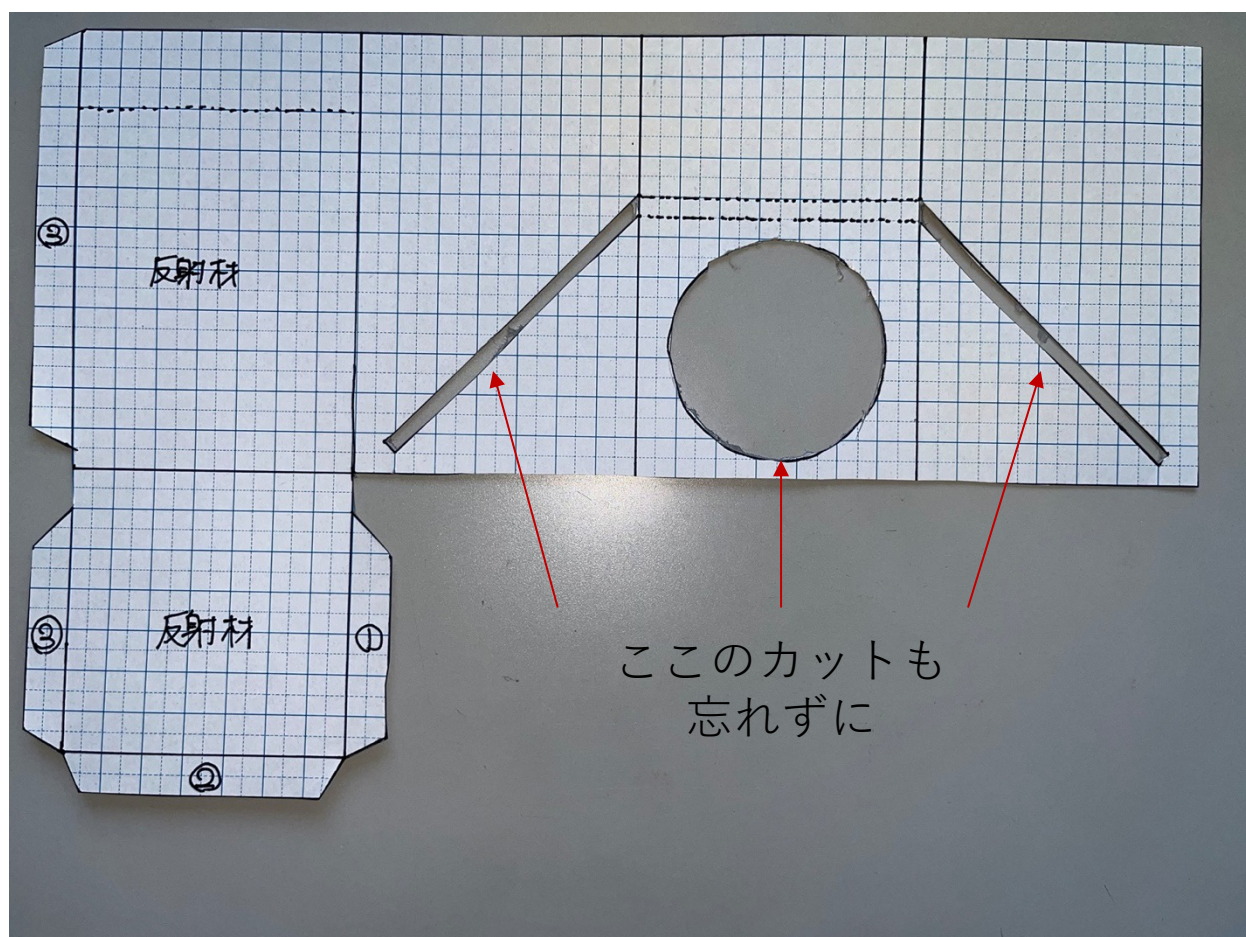
展開図



準備するもの

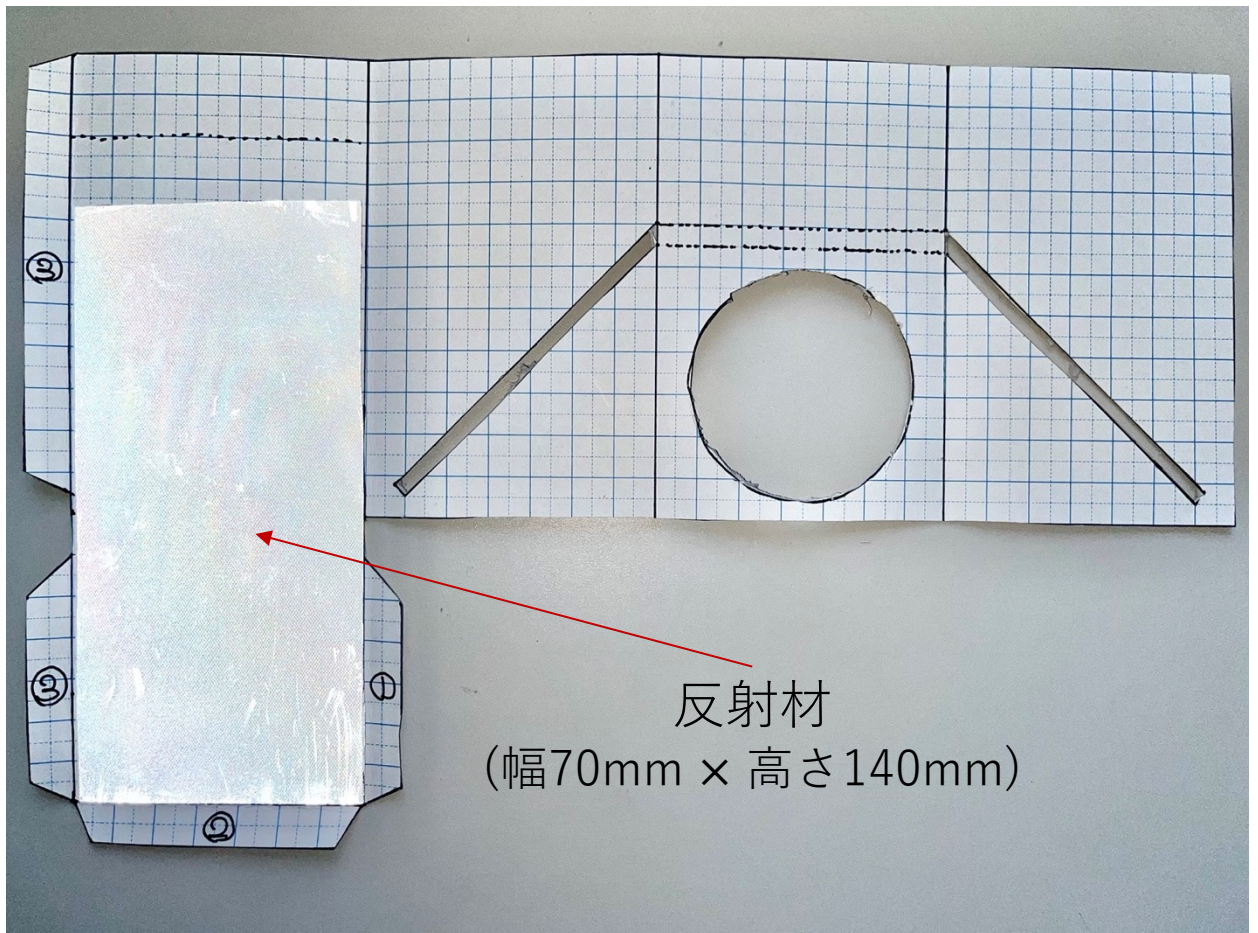
- 展開図を印刷した厚紙（上図）
- 再帰反射素子（反射材）
- ハーフミラー
- のり
- はさみ・カッター

1. 実線に沿ってカットします



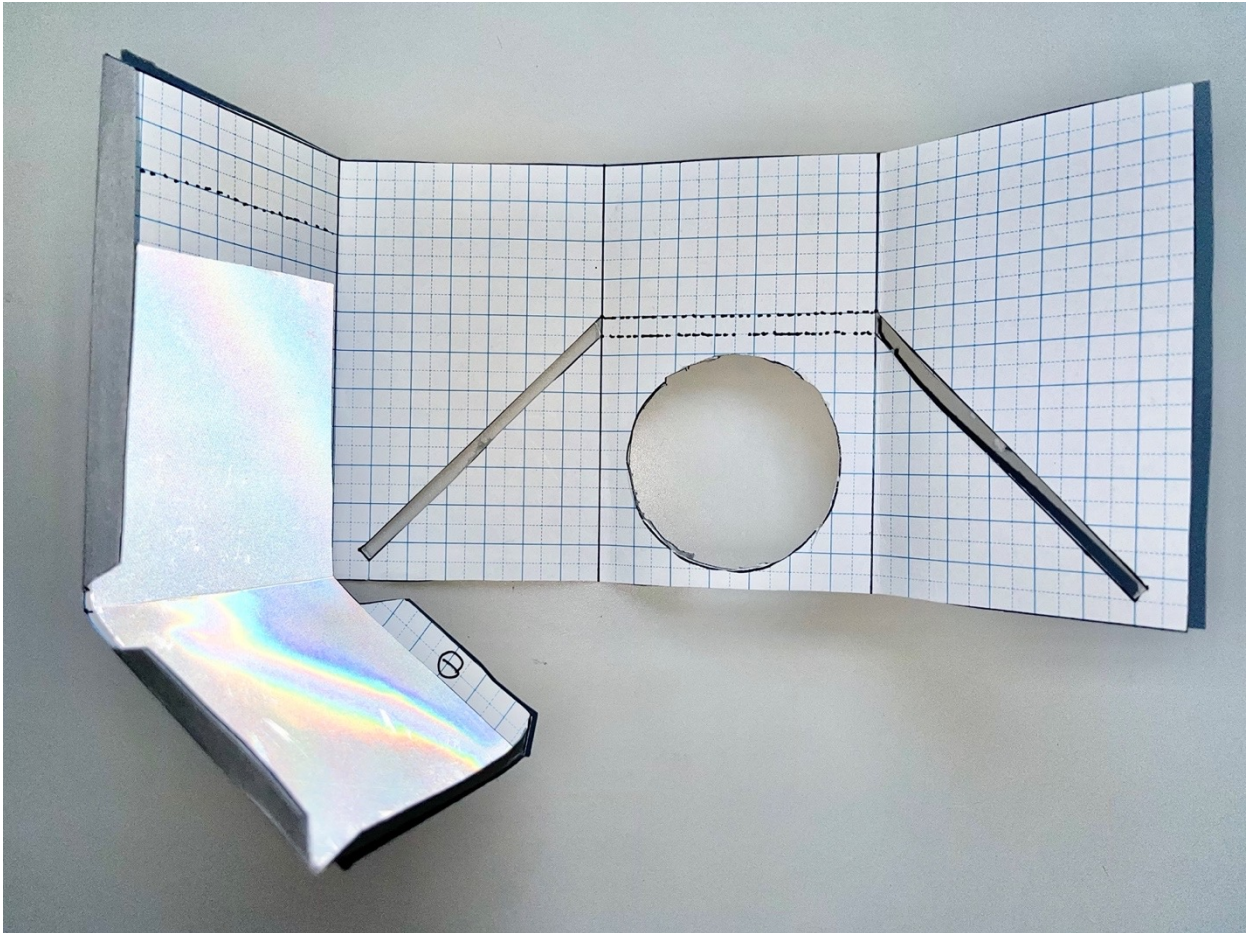
- 展開図中の実線に沿って厚紙を切ります
- 点線は切らないようご注意ください
 - 点線は折り目部分です
- すべて切り終わると上図のようになります
- 円形の窓部分は特にカットが難しいです。
けがをしないようご注意ください。

2. 反射材を貼り付けます



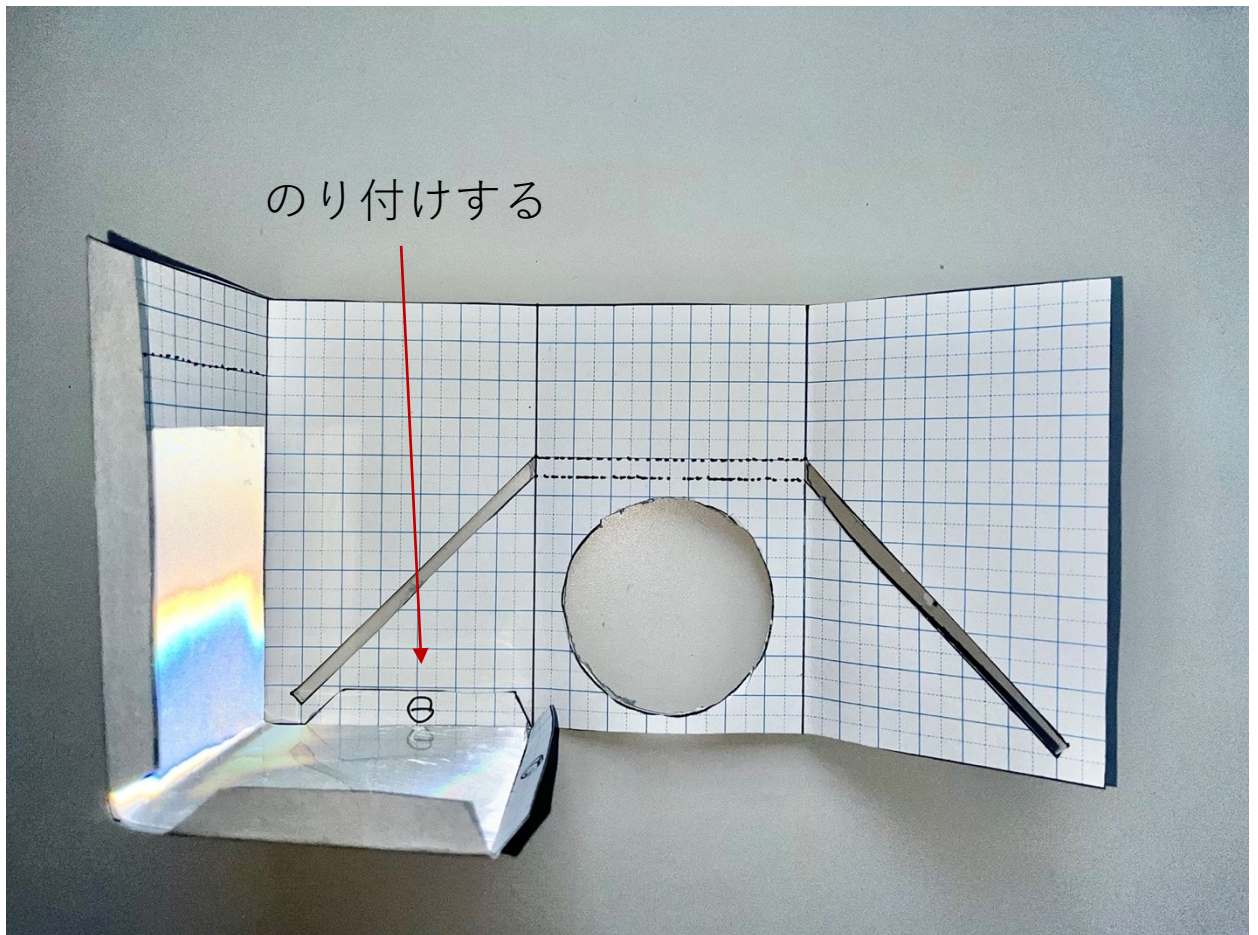
- 画像左の「反射材」と書かれているところに、再帰反射素子を貼ります
- 展開図の印刷面に上図のように貼り付けます

3. 折り目を付けます



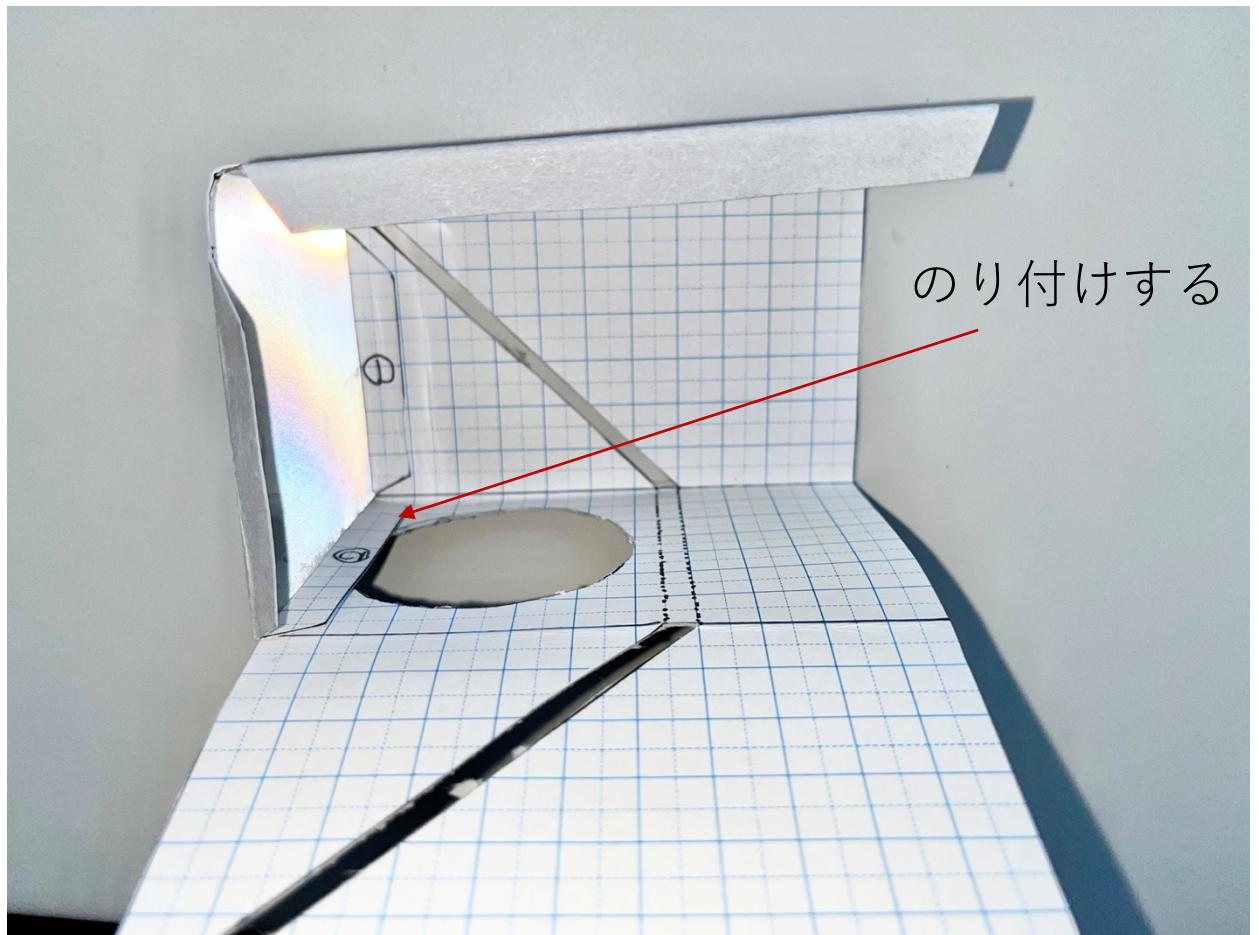
- 上の図のように、箱の辺やのりしろの点線部分に折り目をつけると、後の作業が楽になります
- 方眼の面が箱の内側になるように折ってください（方眼面からみて谷折りで折ってください）

4. のりしろ①を糊付けします



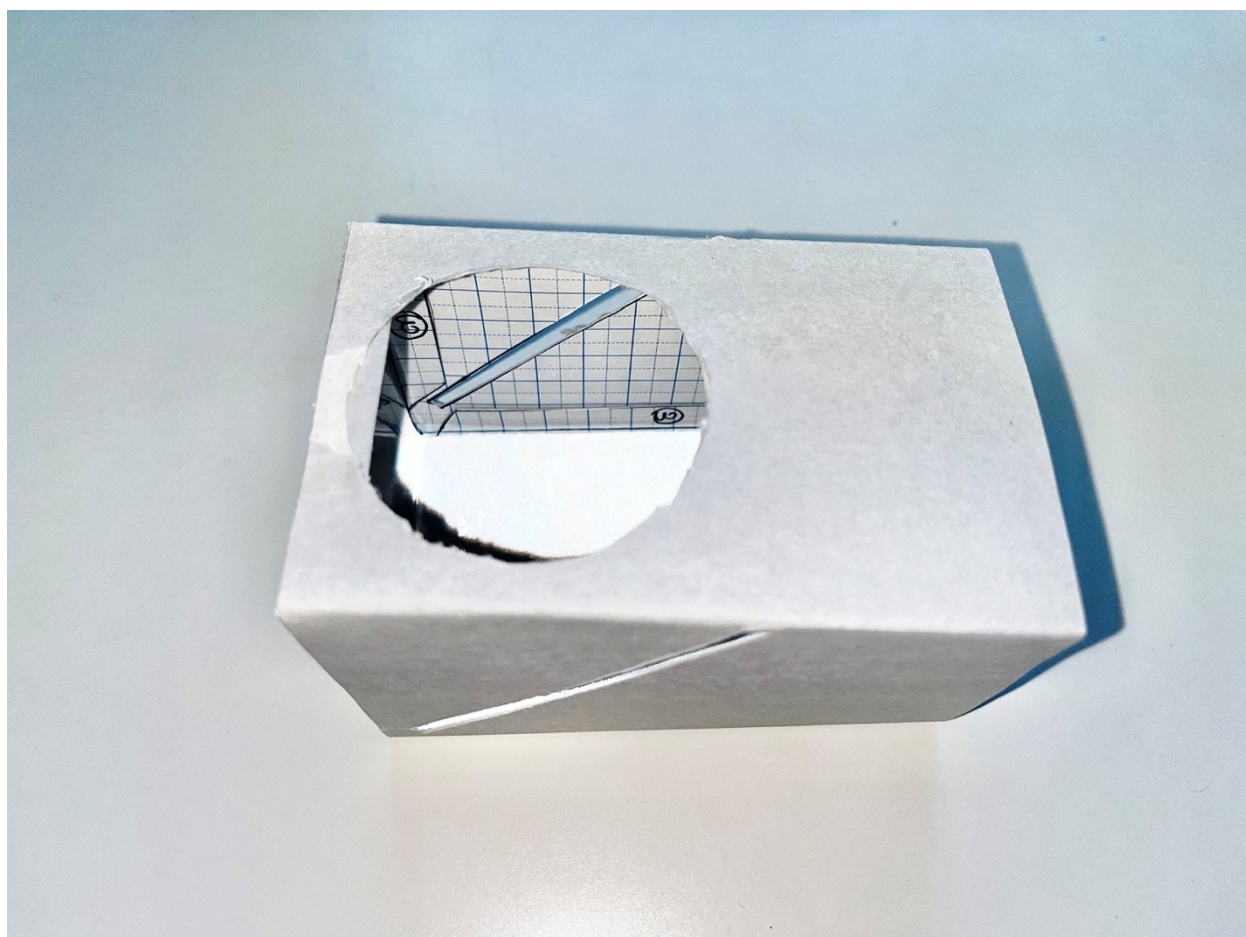
- 展開図ののりしろ①にのりをつけ箱を組立てます
 - のりしろ①の位置は2ページ目展開図を参考にしてください
- 注意：のりはのりしろ①の方眼印刷面の裏側に付けてください（上図参照）

5. のりしろ②を糊付けします



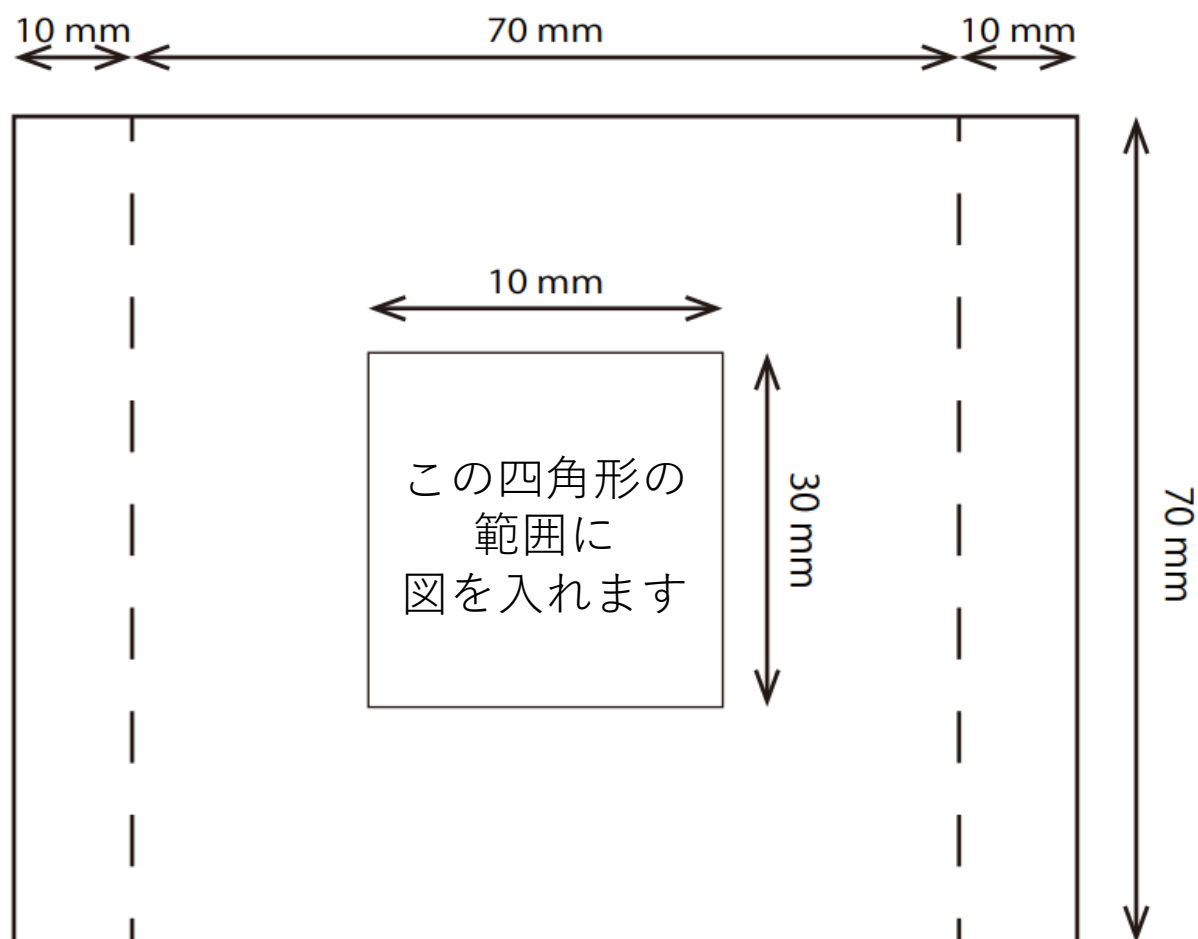
- 同様に、のりしろ②にものりをつけ、箱を組み立てます
- のりしろ①で貼った部分が乾いてから作業すると楽に作業できます

6. のりしろ③を糊付けします



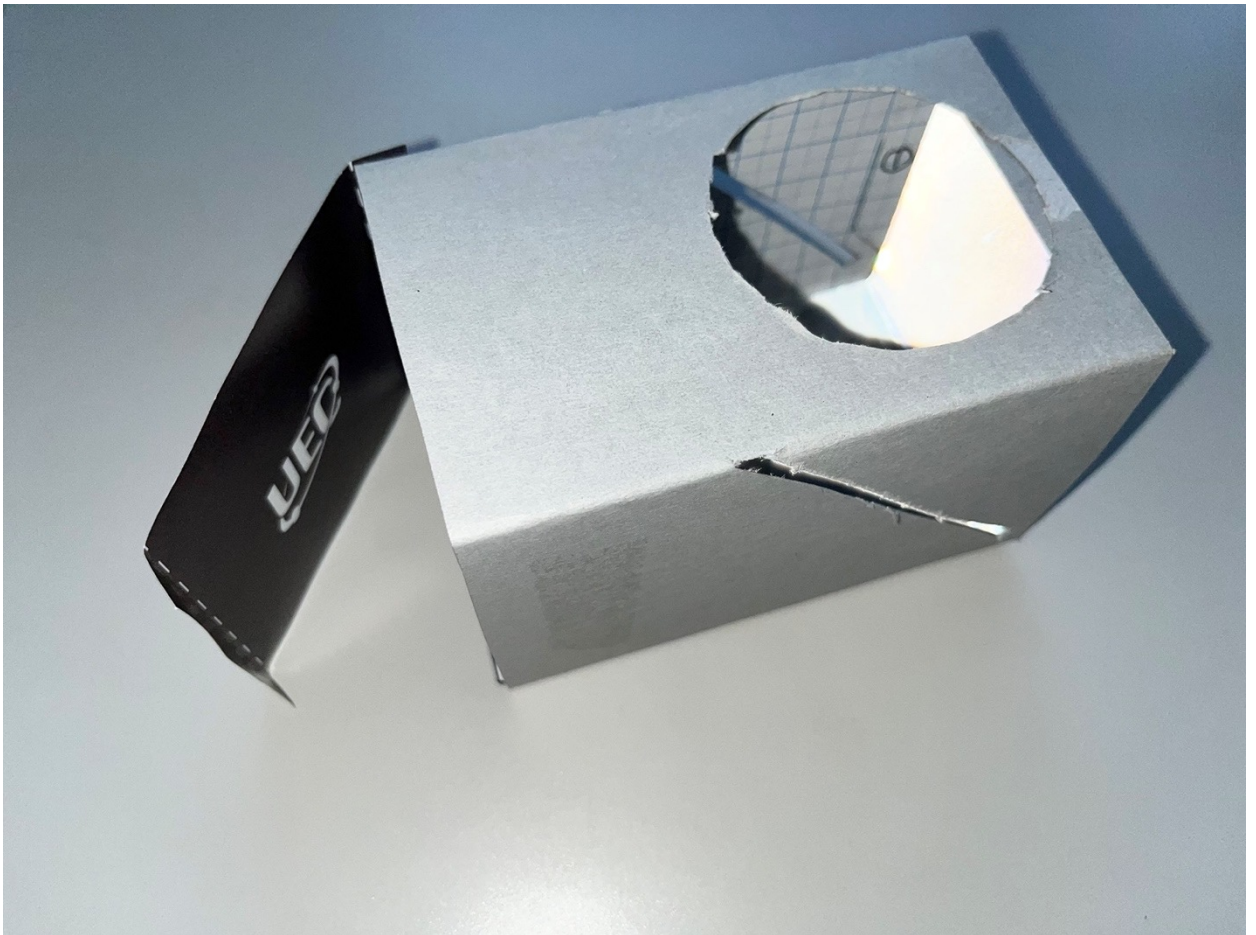
- 同様にのりしろ③（二か所）ものりをつけ箱を組み立てます
- 箱の完成です

7. 画像のもとになるものを作ります。



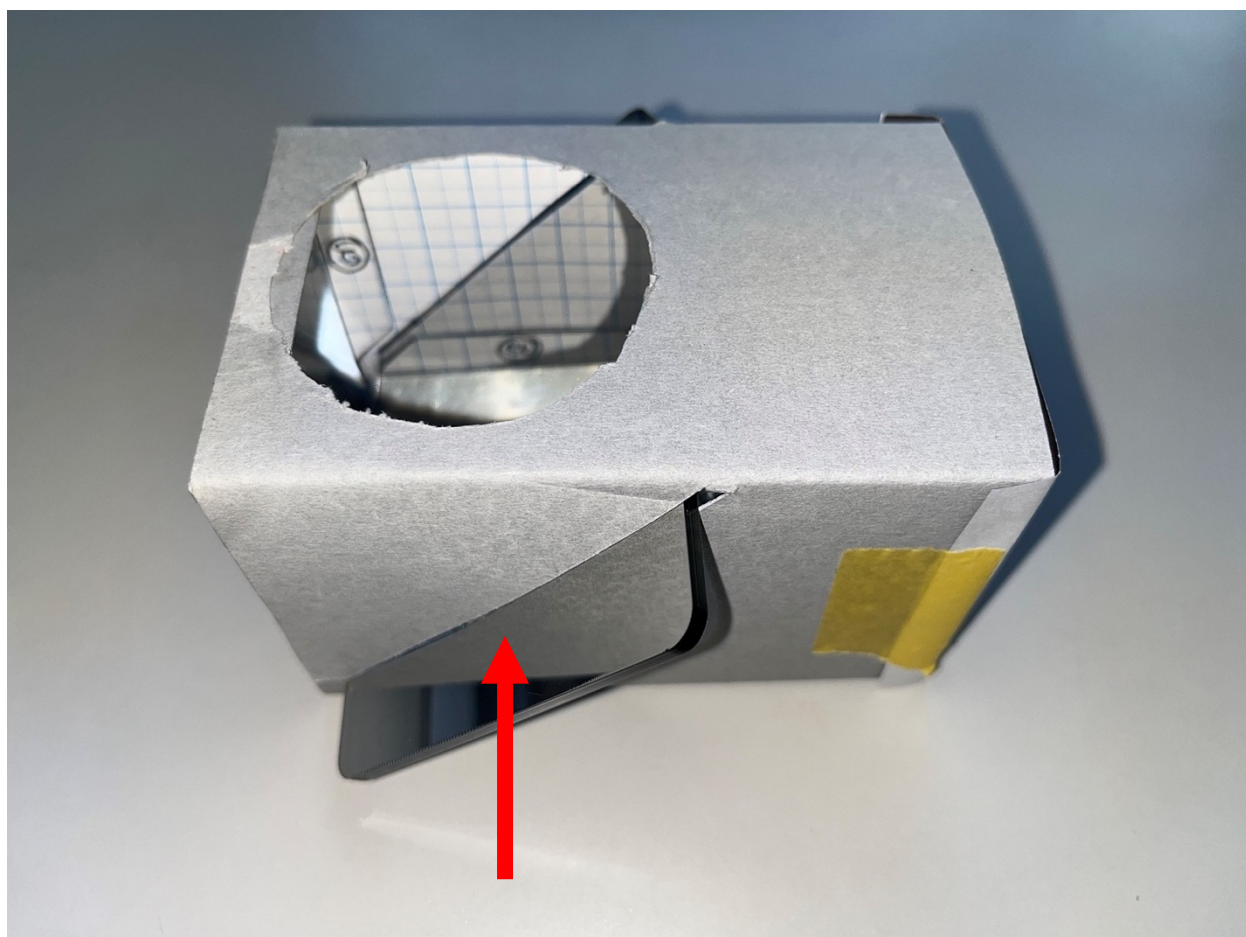
- 上の図のような紙を準備します
- 真ん中の四角形の内側に好きな絵を描きます
- 点線の部分に沿って折る（谷折りする）と、箱の形にぴったり合います

8. 画像のもとになるものを取り付けます



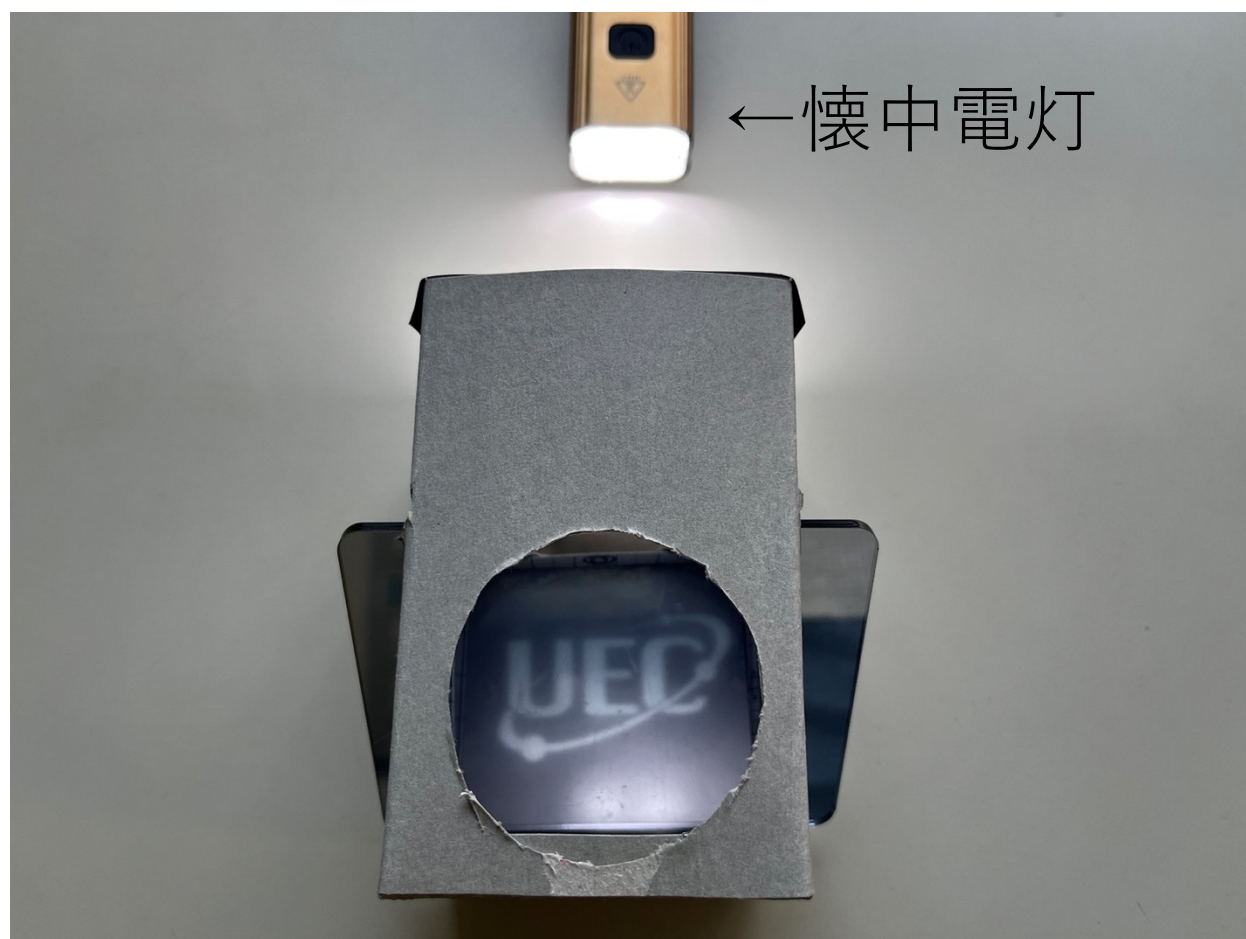
- 上図のように、絵を描いた紙を箱に貼り付けます（のり又はテープ）
- あとで携帯を載せたりもするので、一面を取り付けて、もう片方は手で抑える形式が良いと思います。

9. ハーフミラーを差し込みます



- 側面の穴からハーフミラーを差し込みます

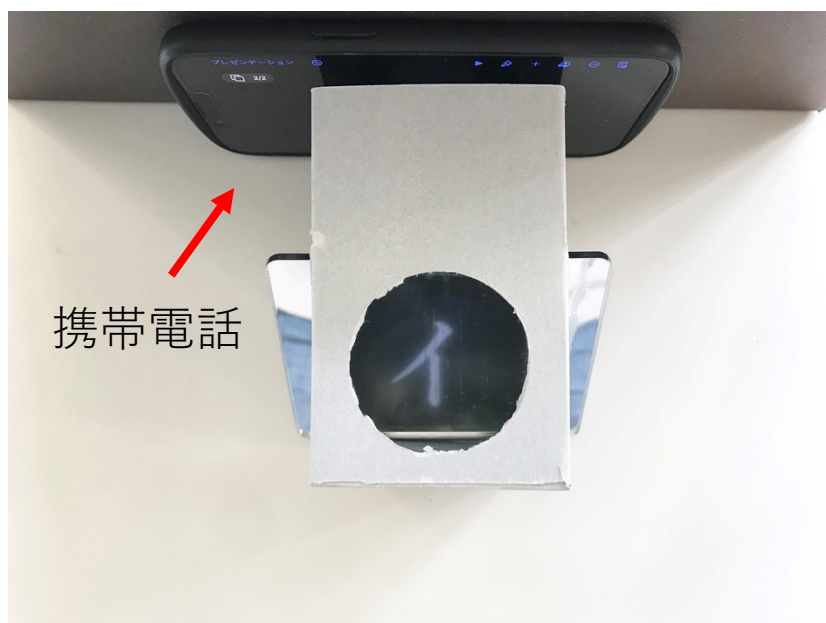
10. 懐中電灯で照らして空中像を確認します。



- 箱の紙を貼った面の外側から光を当てると、「UEC」のロゴが飛び出して見えます

11. 色々やってみよう。

- 光源を携帯電話にしてみよう。



- 太陽の明かりを使ってみよう

